

【記者発表資料】

国道10号 財光寺地区4車線通行可！

門川日向拡幅事業（門川町大字加草～日向市大字平岩）の一環で整備を行っていましたが財光寺地区の新生町交差点から長江交差点付近までの約700mについて、平成21年10月31日（土）午前9時より4車線で通れるようになります。

車道部の工事は終わりますが、引き続き一部歩道や路肩での作業を予定しています。

工事概要・位置図等・・・・別添資料1・2

問い合わせ先			
国土交通省 九州地方整備局			
延岡河川国道事務所	道路副所長	川北	一明
	工務第二課長	福崎	昌博
	延岡国道維持出張所長	古閑	靖啓
電話：0982-31-1155（代表）			

【事業の概要】

一般国道１０号門川日向拡幅は、延岡市から日向市間の交通混雑の解消（主要渋滞ポイント：新生町交差点）と交通安全の確保を目的とした延長１２．８kmの現道拡幅事業です。これまで門川町大字加草から日向市新生町までの延長９．８kmについて４車線化を行っています。

今回、新たに塩見大橋南詰から長江交差点付近までの延長４００mの４車線化が完了し、新生町交差点から長江交差点付近までの７００mが４車線での通行が可能となります。

【整備効果】

●交通渋滞の緩和、交通安全の向上

４車線に拡幅、右折レーンの設置及び歩道の整備により交通混雑の緩和及び交通安全の向上が見込まれます。

【工事概要】

- ・車道舗装（排水性舗装） A＝約６，８００m²
- ・歩道舗装（透水性舗装） A＝約２，３００m²
- ・電線共同溝（電力・通信管路等） L＝約４６０m@２（上・下線）

【工事内容の特徴】

●車道には、良好な沿道環境を形成するため多機能舗装を施工しています。

交通量が多く騒音値の高い市街地での騒音対策・夜間雨天時の視認性確保、歩行者への水はね防止対策として、多機能舗装を施工しました。

●歩道には、人と自然にやさしい多機能舗装を施工しています。

舗装内の空隙を利用して路面に降った雨水を、そのまま地中に還元する機能をもつ舗装を施工しました。これにより雨の日でも水溜まりが無くなり、更にすべりにくくなり快適に歩けるようになり、また、しみ込んだ雨水は道路植栽等の生育に役立ちます。

●塩見大橋橋面排水用柵の跳ね上がり防止対策を施工しています。

排水柵蓋跳ね上がり・飛散による対策工法として、今回、塩見大橋（下り線）の橋面排水柵蓋に新技術製品を採用し施工しました。（跳ね上がり防止対策として特殊なピンを使用）

これにより、重車両等が蓋上を走行した場合でも飛散・破損等は防げるものと思われます。

位置図



4車線供用直前の写真



橋面排水用柵の新技术製品設置状況

改良前 鋳鉄製 柵蓋

改良後 鋼製グレーチング蓋 跳ね上がり防止

